



めぐみだより No.3

令和4年10月

うさぎぐみ

運動会では温かいご声援と拍手、準備片付け等ご協力頂きありがとうございました。

幼稚園最後の運動会、子ども達のいきいきとした表情、頑張る姿をご覧頂けたかと思えます。障害物競争の跳び箱では、みんなで毎日一生懸命練習し、跳べる頻度も高まってきました。跳べるようになると、友だちにコツを教えてあげる思いやりの姿や、次は6段に挑戦してみる！とチャレンジする姿もみられました。

障害物競走の たすきやバトンリレーのバトンをつなぐ大切さを知り、少しでも早く仲間に繋ごうと話し合いをしたり、別の方法を試したり工夫しました。

互いの思いや考えを分かち合いながら一つの目標に向かっていく協同性の育ちがみられました。応援歌作り、1人ひとりの係の仕事、ポスター、万国旗作りなど運動会を自分たちで作りに上げていくプロセスを楽しみ充実感・達成感を味わう姿に成長を感じ嬉しく思っています。また、運動会でつけた自信を他の活動や生活の場で発揮するなど、頼もしい姿がみられます。

遠足では、小さいクラスの子と手を繋ぎ優しく声をかけながら歩いて、ザリガニ取り、アスレチックなど一緒に楽しみました。秋の自然物にも興味をもち、触れ親しんでいるので、豊かな自然を十分に活かした遊びや創造する面白さを体験出来るよう考えていきます。また、芸術の秋に因んで、廃材遊びの中で楽器作りをしたり、音楽を楽しむ活動を考えています。



はとぐみ

2学期が始まり、運動会の練習に最後まで頑張って取り組みました！練習を始めたときは、「あそびたい～」と遊びのほうに行ってしまう子もいましたが、「やるときはやるよ！」とメリハリをつけてやれるように伝えていくと、張り切って練習のほうに向かうことができました。はと組は個人の競技があった為、練習を重ねていくと「ここはこうするんだよ！○○ちゃんこっちだよ！」



と、動きや話す内容を覚えていて、先生が声を掛ける前に教えてくれる姿が見られるようになりました。リードしてくれる子出てきて、全体を引っ張ることを経験し自信につながったように感じます。みんなの前で何度も練習するうちに、技が「できた！」という達成感や、ドキドキしながら「できた！」という自信など、大きな成長につながる経験ができました。練習で友達の技を見ていると「やってみたい」という気持ちから、おうちでやっていた子や、幼稚園でも「貸して」と友達に道具を借りて行う子など、友達の技にも興味を持って取り組んでいる姿も沢山ありました。遊びの中で「どっちが速いかな？」や「よーいどん！」と、次の活動に移るときに声掛けをすると、子どもたち同士で競い合ったり、子どもたちのほうから「よーいどんやりたい！」と言ってくる場面もあり、運動会への意識も見られました。競技の最後に☆を作るところでは、子どもたちだけで協力をして1つのものを作るという経験を通し、より一層友達同士との関わり合いがはと組のなかで増えたように思います。

遠足では、バスの中から色々な景色を見て、友達や先生とお話を楽しんだり歌を楽しく歌っている姿があったり、公園では秋の自然に触れ、様々な体の動き(アスレチック)を楽しんだり、虫やザリガニを見つけることに夢中になったりと大満足の1日になったようです。

これから気温も下がってくる時期に入ります。体調に気を配りながら、外に出て体を動かして遊んだり、今2階の保育室で子どもたちがハマっている「お店屋さんごっこ」遊びを行い、支援しながら楽しく過ごしていきます。

ひよこぐみ

毎日大きい組さんの練習する様子を横で見ながら、運動会に向かっていく雰囲気を感じて過ごしました。「あれ何してるの？」「僕たちもやるの？」と目をキラキラさせながら練習の風景を見ていました。保育室や園庭でも応援をしたりと、関心を持って「何組さん強いね」「○○くん走るの速いね」など、子どもたち同士で話しながら見守っていました。



行進に関しても、大人に誘導されたり歩くペースが追い付かなくて保育者に手を引かれるということもなく、大きくて手を振って、しっかり周囲を見て大きい組さんたちについていくことが出来ていました。はとぐみさんの競技のダンスにも混ぜてもらい、楽しく踊ることが出来ました。遠足では うさぎ組さんが手をつないでくれました。相手の名前をすぐ覚えて、当日もちょっぴり緊張しながら手を引かれて歩いていました。初めてお家の人と離れての遠足も「ママお留守番なんですよ？」とドキドキワクワクして楽しみに待っている姿が印象的でした。公園についても自分の荷物を持って自分の事は自分でして、「つかれた～」とも言わず、しっかりと最後まで行うことが出来ました。今後は秋の自然物を使って、転がしたり顔にしたり音を出したりなど、自分なりの表現を楽しんだり、お外で元気いっぱい身体を動かしたりして、遊びたいと考えています。

[ソフトブロック遊びでの一場面]

みんなで先生の為にソフトブロック(大きな積み木)で、お家を作っていました。泥棒に見られないようにと隙間なく高く積み上げて完成です。Aちゃんが「すてきな家ができたね」というと、他のみんなも「そうだね。そうだね。」と言って盛り上がる姿がありました。するとBくんが「ステーキはどこで食べる？」と話し、徐々に会話が噛み合わなくなってきました。Bくんは何度も「ステーキ！ステーキ！」と言っていたので、よくよく考えると、Aちゃんが言っていた「すてきなお家」を「ステーキのお家」と聞き間違っていたことで、会話がずれていたことに気づきました。分かった時はみんなで笑ってしまいました。